

ひとり親家庭実態調査(案) 設問項目一覧表

資料11-1

	調査項目	設問のねらい	H22年度調査
設問1. 回答者について			
問1	性別	・回答者の属性を把握	○
問2	年齢	・回答者の属性を把握	○
問3	居住歴	・回答者の属性を把握	○
問3-1	転入者の居住年数	・回答者の属性を把握	○
問4	居住地域	・保育等のニーズを地区別に推計するために把握 ・集計段階で計画の教育・保育提供区域に整理する等の工夫が必要 ・サービスの提供区域の考え方の基になる	○
問5	家族の人数		○
問6	家族構成	・子どもの家族の状況把握(ひとり親か否かを把握)	○
問7	子どもの人数・年齢・通学(就職)先・学年・同別居の別	・世帯の子どもの人数及び年齢層を把握 ・年齢別の推計ニーズ量を算出する際に活用 ・クロス集計に活用	○
問8	生計中心者	・回答者の属性を把握	○
問9	ひとり親になった事情		○
問10	ひとり親になった時の年齢		○
問11	現在の就労状況	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(1)	就労形態	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(2)	勤務地域	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(3)	通勤時間	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(4)	勤務年数	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(5)	(ひとり親になった時に就労した人へ)利用した相談窓口、利用した	・事業の利用実態を把握	
問11-1(6)	求職時の問題点		○
問11-1(7)	就労支援が必要だと思うこと	・就労上のニーズを把握	○
問11-1(8)	ひとり親になってからの転職経験について(転職回数)	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(9)	転職した理由	・就労上のニーズを把握	
問11-1(10)	現在、転職を希望しているか	・保護者の就労実態を把握	○
問11-1(11)	転職したい理由	・就労上のニーズを把握	○
問12	仕事と子育ての両立で大変だと感じる点	・就労上のニーズを把握	○
問13	仕事と子育ての両立において行政に望む取り組み	・就労上のニーズを把握	○
問14	(未就労者へ)働いていない理由	・保護者の就労実態を把握	○
問15	(未就労者へ)就業意向	・保護者の就労実態を把握 ・親の将来就労ニーズを把握(潜在的な待機児童の把	○
問16	取得したい資格・身に付けたい技能	・就労上のニーズを把握	○
問17	主な収入源	・費用面の実態を把握	○
問18	年収	・費用面の実態を把握	○
問19	住宅の種類	・費用面の実態を把握	○
問20	家賃・ローン/月	・費用面の実態を把握	○
設問2. 養育費について			
問21	養育費の支払方法の約束	・費用面の実態を把握	○
問21-1	養育費について「特に取り決めをしなかった」理由	・費用面の実態を把握	
問21-2	養育費を受け取っているか	・費用面の実態を把握	○
問21-3	養育費の約束は守られているか	・費用面の実態を把握	○
問21-4	養育費を受け取っていない理由	・費用面の実態を把握	
設問3. 面会交流について			
問22	子どもとの面会交流についての約束		
問22-1	面会交流について特に取り決めをしなかった理由		
問22-2	現在、面会交流を行っているか		
問22-3	面会交流の実施頻度		
設問4. 子育てについて			
問23	子育てをしていて良かったこと	・子育ての実態を把握	
問24	子どもについて悩んでいること	・子育ての実態を把握	
問25	(全般的に)悩んでいること		
問26	子育てに関しての悩み・不安の相談先(人・機関)	・子育ての実態を把握	
問27	子育てに関する情報の入手先	・事業へのニーズを把握	
問28	子どもを預けたり、通わせたりしたことがあるか(選択肢:9項目)	・事業の利用実態を把握	
問28-1	預けたり、通わせたりした主な理由	・事業へのニーズを把握	
問28-2	預けたり、通わせたりした際に不満に思ったこと	・事業へのニーズを把握	
問29	他のひとり親家庭との交流の希望	・事業へのニーズを把握	
問30	利用したことがあるサービス・制度	・事業の利用実態を把握	
問31	ひとり親家庭支援事業として望むこと:回答選択肢に「子どもへの学習支援ボランティア事業」及び「学費等の奨学金制度」を追加	・事業へのニーズを把握	○

○H22年度 調査項目